

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4691200218号
法人名	株式会社 ケアサポート霧島
事業所名	グループホーム きりつま
所在地	鹿児島県霧島市霧島大窪63-2番地 (電話) 0995-64-8095
自己評価作成日	平成29年12月28日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年2月23日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームきりつまは霧島山麓の豊かな自然環境の中美味しい空気を身体いっぱいに取り入れ気持ちよく過ごせる場所にあり、周りの景色は四季折々の花々が咲き誇り、近くの神社に散歩がてらお参りをしたり、足湯のサービスを利用したり、近隣のスーパーや八百屋と一緒に同行していただき献立を考えながら日々の会話や外に出る機会を多くもつように取り組んでいる。又、園庭に畑を作り、収穫した新鮮な野菜を食べていただき栄養豊富な食事メニューを心掛けている。日々自然と触れ合っていて楽しく暮らしていただけるよう「家庭的な環境を大切にしている。職員は常に寄り添うことを大切にし(感謝の心・謙虚の心・共感の心)3Kのこころを持って五感を使って良く観察し、報告・連絡・相談を心掛け早期発見・対応に努めている。生活のパートナーとして、利用者様・ご家族に接し一日一日を張りのある充実した生活が送れるように努めている。常に一人一人のニーズに合わせ個別の関わりを重視し人生の大先輩としての敬いの心を持って接している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

大自然に囲まれたのどかな田園地帯に立地し、ホーム周辺にある田畑の近隣住民とは散歩で顔なじみになり地域との関係も築かれている。また目の前を走る列車や山の景色からは四季の移り変わりも感じることが出来る。

広い敷地には東屋があり、利用者同士でお茶を飲んだり訪問した家族とも花々を楽しんだり自然環境に恵まれた立地である。広い共有空間や居室は家族や利用者また訪問者もゆったりとした時間を過ごせる造りになっており、ホーム内外からのどかな雰囲気が伝わっている。

排泄の自立支援では、ホームの方針「オムツを使用しない支援」に取り組み、排泄チェック表の活用や声掛け誘導をするなど職員全員で配慮している。家族の経費の負担軽減に繋がり喜ばれている。

職員の離職率も低く、働く環境や職員間のコミュニケーションが図られる事で、利用者との関係も良好でより質のいいサービスを提供し利用者も日々穏やかに過ごせている。

管理者は前回の目標達成計画も、職員と話し合い達成に向けて計画し努力実行し達成するなど、常に前向きである。管理者と職員は、今後も更にサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の基本理念として「一人一人の個性を活かしたゆとりある生活と家族の絆を大切にします・地域の中で交流の場としての環境を作り安心して癒しのある生活を大切にします」理念は見える所に掲示し職員の目につきやすい所にも貼っている	開設当初からの理念である。全体会議時には唱和し、玄関やトイレには掲示もされている。理念とは別に各棟毎に目標を毎月設定し、達成出来ない時は次月でまた目標にしサービスの質の向上を目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の散歩途中に、地域の方との会話や挨拶の中でも着実に地域に溶け込んでいると実感を持っている。近隣の方やご家族が野菜等を届けてくださることもある。近隣住民・子供たちを交えボランティアに来ていただいたり、一緒に取り組みやすい行事を共に作成し参加し日常的に交流をしている関係である	自治会への加入はないが、情報収集は市報を入手している。近隣の方とは日常の会話や野菜の差し入れをもらったり、また保育園児との交流も続いている。日常的な交流はあるが、地域への行事の参加がすくないので今後は、地域とつながる暮らしができるよう検討中である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ライフサポートワーカーが事業所内に3人在籍し、近隣住民の方々が気軽に立ち寄れるサロン会を開催し私達の専門性を活かした分野で相談を受ける等しながら、お役に立てるよう心がけ活動している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の機会を捉え、自己評価・外部評価の結果や改善計画、入居者様の状況、きりっまの理念や日常の健康管理・防火安全対策等について議題に取り上げ、その都度意見をくみあげながらサービスの向上に繋げている	2ヶ月毎の会議は定例化され、利用者の現状報告・行事報告などの活動報告が行われたり、毎回のテーマは決められており活発な意見交換の場となりサービスの向上に活かされている。家族側からも色々な家族の参加が見込まれるようになってきた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議時に市職員が参加し、サービス提供に関する日常的な疑問・相談等を実施している。	窓口に出向いて相談や情報交換を行っている。運営推進会議への参加もあり、市主催の研修へも参加している。日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束になり得る状況等を常に話し合い考え身体拘束委員会を設置し、身体拘束にならない仕方を見つけ出し「身体拘束排除宣言」を掲げケアに取り組んでいる	身体拘束委員会があり、職員の勉強会も行っている。言葉の拘束では、気付いた時点で注意し話し合っている。日々身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に利用者様の立場になり利用者様の人権を尊重する考えを忘れず周りとも連携し、間違いないケアを行えるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援については、プラン作成より検討し、職員はプランに沿って支援している。成年後見制度については、職員が理解できるように勉強会を行い資料回覧等を行っている。家族には契約時及び必要時に概要の説明等の情報提供を行い手続きの支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	本人様・家族様にとって不安なことや意見・疑問点を尋ね十分に説明を行って理解、納得の上契約をしている。解約についても同様にしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様との日常会話を通じて苦情や意見をくみ取るように努めている。家族には運営推進会議や面会時を利用して意見や思いの表出に努めている。なお、言いにくい場合は玄関に意見箱も設置しており、内容に応じてその場での回答や職員会議で検討した後に回答するなどの取り組みをしている	利用者からは日々の関わりの中で意見、要望を聞き思いをくみ取っている。家族からは面会時や行事時に聞く様に努めている。出された意見要望は職員と話し合い運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や勉強会・ミーティングには必ず管理者が出席しその際に積極的な意見交換を行っている。また、常日頃から職員が意見を出しやすい職場環境を作り心掛けており、運営に反映させている。	ミーティング時や全員参加の職員会議に意見や提案を聞いている。管理者は意見が出やすい関係作りにも努めている。資格取得にも支援している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の都合をできるだけ反映させ、勤務体制とし、意見を取り入れ、やりがいにつなげるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員自らが自己評価や事業所内で勉強会の機会を多く持つようにして職業意識を高め、さらに広い視野で介護を捉えるよう取り組んでいる。また、全職員が外部研修を受ける機会を設け、その研修内容を職員間等で発表することで、未受講者への浸透を図っている。なお、資格取得に関する費用支援もしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>相互研修に参加したり、三か月に一回（ちぎり会）という霧島地区の事業所で集まり情報交換や・事業所訪問等を行い交流を深めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に訪問調査を行い、情報収集を行い、本人様の要望に対応できるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に本人様と一緒に見学に来て頂いたり、事前に不安や要望を聞き、より良いサービスに繋がるように取り組んでいる。ご家族様とのコミュニケーションを大切にし、意見・要望など話しやすい雰囲気作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様と御家族様の意向をしっかりと把握し、安心してサービスをうけられることができるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>残存能力に応じ、洗濯物の整理や食事の準備、後始末など日常の家事や他菜園の世話、収穫等も職員と一緒にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に、電話やお便り等で利用者ご本人様の日頃の様子が常に届くよう、情報を入れている。又家族会を含め季節の行事にはご家族様に参加を積極的に呼びかけ、皆で楽しめる機会を設けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みにしてきた思い出の場所や、お墓参りや入居前にご近所で交流のあった方達との面会支援を行っている。	墓参りや入居前の情報を基に馴染みの人や場所との関係継続を支援している。年賀状や手紙を利用者が書き、住所は職員が書いて出している。友人知人の面会も多い。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様のできること、できないことを把握し、その方が力を発揮できるように声掛けを行ったり、一緒に行事に参加して頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院のための退所は、入院先を訪問したり、お便りを出す等して御家族の相談にのったり、アドバイスを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ミーティング・職員会議等において各ご利用者様の日々の言動・行動・表情を観察し記録に残し経過記録（まとめ）を発表している。そのような中でできるだけ本人様の希望や思い、また、望ましい暮らし（ライフスタイル）の在り方を掴み、暮らしに活かせるように心掛けている	利用者の中には言葉の少ない方や、理解はあるが表現が少ない方もいる。職員は日々のケアの中でその思いや意向を把握するよう努めている。困難な場合には本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の情報収集や日々の暮らしの中での様子やサービス状況等、経過シートを用い情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人が個々のペースで生活できるように支援している。現状の把握に努めているようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者を決め経過記録をつけながらモニタリングを行っている。本人様やご家族からは、家族会や面会に来られた折等、ご意見や希望を聴きながらミーティングや職員会議等でケアカンファレンスを行っている。現状に合った介護計画ができるように努めている	前回目標達成計画に家族の役割意識の向上を掲げ、プランの内容をより具体化する事を組み入れている。担当者を決めミーティングや職員会議でカンファレンスを行い、現状に即した介護計画の作成に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様々な気づきを申し送り「引継ぎノート」にて職員間で情報を共有し、常に話し合い、実践に繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々に合わせ、その時の状況に合ったケアを実践している。又、ドライブ・買い物等にも出掛けたりしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	元気だったあの頃の友人が面会に来て下さっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様やご家族には、入所時に医療を受ける際の希望を聴き、要望に沿って対応している。また、症状によって医療機関をご家族と相談しながら選んでいる。	入所前のかかりつけ医で受診できるように支援しているが、協力医療機関の往診を受けている利用者が多い。協力医療機関とは24時間連携が図られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常的に情報交換を行い、状態の変化等の場合は相談し、受診の必要性の判断や助言を得ている。連絡の取れる体制になっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時には基本的には、管理者・ケアマネジャーが責任をもって病院関係者及びご家族等との連絡を密に取り合い、情報交換や相談に努めている。また、関係医療機関の関係者とも日頃から連絡を取り合っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時にご本人様・ご家族の希望を聴きホームの対応方針や事業所が対応し得る支援について説明し、利用者様の状況に応じて段階的な話し合いを行って情報や方針を共有しながら支援している。</p>	<p>入所契約時に「重度化や終末期におけるホームの方針」は説明している。状況変化に伴い主治医から家族へ状況を伝え方向性の共有に努めるようにしている。現在「意思確認書」等の文書化を検討中である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルがあり、急変時にも速やかに対応できるように備えている。緊急蘇生法の研修等にも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回の防災訓練を行い、消火器・消火栓の使い方の訓練も行っている。運営推進会議でもテーマに取り上げ話し合っている。災害時の連絡先や自主防災組織図をホーム内に示し取り組んでいる。</p>	<p>昼夜間想定で年2回消防署の指導のもと避難訓練を行っている。今後は火災のみならず他の災害にも自主訓練を行いまた近隣の住民の協力が得られよう積極的に働きかけを検討している。スプリンクラーの設置があり、備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの配慮については相手の立場になって考えるようにしている。「一人一人の個性を活かしたゆとりある生活を大切に」という理念に添い会議等において振り返り・話し合い・謙虚な姿勢を忘れない努力をしている	利用者の尊厳と権利を守り人権侵害の無いように取り組んでいる。研修・全体会議やミーティング時にも取り上げ職員間で話し合うなど質の向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いを表出しやすいように、職員から話題提供を図ったり選択方式で自己決定を促すなど、ケアの中でさりげなく働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体制や気持ちを配慮し誘導している。「決して無理強いしない」が原則となっている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	好みに応じて衣服を着ていただいたり、化粧の習慣がある方は継続して楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材切り・盛り付け・茶碗拭き等、出来る方に出来る事をしていただいている。誕生日には、ケーキ・赤飯等でお祝いしたりと、利用者様・職員が食を通じて一緒に楽しみながら一緒にやっている。	各ユニット毎に献立作成し、菜園で取れた四季の食材も取り入れ調理されている。個々の力量に応じて食材切りや盛付・洗い物や茶碗拭きなど手伝ってもらっている。花見は弁当・地域の方とのバーベキュー・家族との外食など食事が楽しみなものになるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後食事の摂取量や水分量については、チェックして記録に残し必要量が取れているか一人ひとり気をつけている。又、嚥下困難な方や偏食の利用者様には、形態や調理方法を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	誤嚥性肺炎の予防を行い、義歯の方は洗い残しがないかの確認を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りおむつを使わない方針で対応している。尿意・便意のない方も排泄パターンをつかみ、日中はパンツとパットにする等可能な限り自立に向けて個別支援をしている。	ホーム方針である「オムツを使用しない支援」を排泄チェック表の活用や、声掛けに十分配慮しオムツ代の負担軽減を図っている。排泄の自立支援を積極的に行い、気持ちよく排泄する支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態を確認し、水分補給や食事量・服薬等の調整を主治医の指示の元、調整を行っている。運動も本人様に話しながら継続できるように誘導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は個別に行い入浴時間の希望を聴きなるべくご本人様の希望時に入浴できるよう心掛けている。	入浴は週3回ではあるが、各ユニットの入浴曜日をずらしているため、利用者の希望や身体状況に応じて毎日でも可能である。入浴出来ない時には清拭や足浴など保清に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の体調や希望に合わせて、休息ができるように配慮している。眠たい時は時間に関係なく居室・畳部屋にてゆっくり休んで頂くよう支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の個々の内服薬に関して、薬の処方箋を職員が確認し、情報の共有を行っている。新規の処方があった場合は内容等を確認し、内服してからの状態を記録に残す等状態の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の職歴や生活面を配慮している。菜園の世話を日課にしている利用者様には、安全に行えるように見守り、必要時に声掛けをしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	身の回りの物や食べ物を買いにスーパーに行ったり、外食や近くの公園に散歩に行けるように配慮している。各行事で町内会の催し物等四季を通じての屋外レクリエーションを実施し、気分転換や楽しみとなるように支援をしている。	日常ではホームの広い敷地や近隣の散歩や買い物、ドライブに出かけられるよう支援している。年中行事の外出以外でも四季の変化を感じるなど家族の協力も得ながら支援している。東屋では皆でお茶を飲むなどホームに閉じこまらない生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を自分で管理されている利用者様には、ご家族と相談の上、管理できる範囲の金額でお任せしている。ホームでの管理の場合でも出納帳をつけ、毎月家族へ確認していただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様が電話を希望されるときは、ご家族の意向もふまえて職員が対応し、円滑に会話ができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合った装飾を心掛けている。玄関やロビーには活け花や観葉植物・ご家族に了解を得た上で行事や日々の写真を掲示している。心地よい生活環境には特に力を注いでいる。音などの刺激を防止するなど必要に応じて、適時、工夫を凝らしながら支援している。</p>	<p>開放的な広さの空間である。オープンキッチンからは五感を刺激する匂いや音が感じられる。利用者が自由に行き来きできるので、日中は椅子やソファで居心地よくくつろいでいる。玄関には花が活けられ、壁には利用者の行事写真や作品が飾られ生活感・季節感を取り入れ居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好きな時に好きな事が出来る様に職員も注意し、一人で過ごせるスペースを確保している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人様・ご家族と相談し、居室には自宅で使用していた、箆笥や椅子・鏡台・仏壇を持ってこられている方、亡夫の写真や賞状、人形等を飾られている方もおられる。職員も利用者様が居心地の良い居室作りを常に心掛けている。</p>	<p>使い慣れた馴染みの家具、仏壇や家族写真お気に入りの物を持ち込まれ飾られる方もいる。居心地よく過ごせる配置をするなど家族と職員といっしょに心がけ工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下や居室の移動線上に手すりを設置し利用者様が安全に生活できるようにしている。好きな時に好きな事ができるように職員も工夫し一人で過ごせるスペースを確保している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない